

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	グラン・シード北野ルーム		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心感をもって通所し、「また来たい」と楽しみに思える明るい環境づくりができる。	特性により集団参加が難しい児童には無理に促さず、まずは個別の思いを受け止め、安心できる居場所であることを認識してもらう対応を優先している。	保護者が日々の困りごとを遠慮せずに相談できる環境づくりのため、LINE等のツールを活用した気軽な連絡・情報共有体制を充実させる。
2	音楽療育(リトミック等)を取り入れ、各児童のストレンクス(強み)を引き出す多様なプログラムを提供している。	絵カードやイラストを用いて1日の流れや物の置き場所を「見える化(構造化)」し、児童が見通しを持って自ら動けるよう工夫している。	提供している活動が「どのような特性に対し、どのような目的(訓練)として行われているのか」をより明確にし、保護者へ分かりやすく提示・説明できるよう工夫していく。
3	子どもの特性を細かく把握しており、保護者は勿論、保育所・幼稚園との情報共有を通じて、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援ができています。	活動概要や日々の様子について、SNS等を通じて迅速かつ分かりやすく保護者へ情報発信を行っている。	より質の高い専門的な療育を提供するため、引き続き専門職員の確保・配置に努める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングなどの家族支援プログラムや、夏祭り以外の保護者同士の交流機会が十分に提供できていない。	保護者が就労や育児で多忙であるため研修等の開催が難しく、日々の送迎時や面談時のアドバイスが「家族支援(ペアレントトレーニング等)」として十分に認識されにくい。	家族支援として、お便りでペアレントトレーニングの意義を周知するとともに、LINE等の活用や研修会の動画配信など、多忙な保護者でも参加・確認しやすい支援の形を模索・実施していく。また、夏祭り以外の機会でも、保護者が気軽に参加でき、交流を図れるようなイベント等を検討する。
2	事故防止、緊急時対応、防犯などの各種マニュアルは策定されているものの、保護者への周知・説明が完全に行き届いていない。	職員が日々の療育対応や準備に追われているため、マニュアルの定期的な再周知や関係機関との連携に時間を割く余裕がなく、また、保護者が「先生が忙しそうで困りごとを伝えられない」と遠慮してしまう状況が生じている。	未確認の声があがった事故防止・緊急時対応・防犯マニュアル等について、改めて保護者へしっかりと周知・説明を行う。
3	専門職員の不足や、日々の業務の多忙さから、地域関係機関との連携に十分な時間を割けていない。	各種媒体を通じて専門職(理学療法士等)の求人活動を行っているものの、容易には人材が確保できない状況にある。	継続的な求人活動による専門職の確保を目指すとともに、現在の職員がよりの確かなアドバイスや支援を行えるよう、職員研修への参加を進め専門性を深めていく。